

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E112M008		被服学 (被服製作実習を含む。) (Clothing and textiles)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	2	教育学部 令和2年度以降入学生用	前期	月5	日本語		単独						
担当教員	氏名 都甲 由紀子													
	E-mail togo-yukiko@oita-u.ac.jp 内線 7561													
授業の概要	1. 中学校技術・家庭科の教科書記載内容の理解のため、「人はなぜ服を着るのか」について考え、多面的アプローチで説明する機会を持つ。 2. 快適で豊かな衣生活を目指すために必要な被服学の基礎知識を得て説明できるようになる。 3. 被服製作の基礎技能を身につけるため、布を用いた製作をする。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	中学校技術・家庭科の教科書記載内容について理解して説明できるようになる。							○						
目標2	被服についての基礎知識を得て、文化的かつ、健康的で快適な衣生活とはどのようなものか説明できるようになる。								○					
目標3	被服製作の基本的な技能を身につけ、布を用いて小物を製作し、完成させる。									○				
目標4	衣生活と環境問題の関係について考え、意見交換できるようになる。										○			
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								4	3	2	1			
授業の内容														
1	衣服を着る意味を考える 衣服の機能と役割													
2	世界の民族衣装													
3	日本の服飾文化													
4	被服材料1―繊維の種類(天然繊維、化学繊維)と性能													
5	被服材料2―糸、布の構成													
6	被服管理1―洗濯													
7	被服管理2―手入れ、保管													
8	衣服の品質表示(組成表示、サイズ表示、取り扱い絵表示)													
9	被服構成の基礎													
10	被服製作実習基礎1 採寸、型紙準備													
11	被服製作実習基礎2 裁断、しるしつけ													
12	被服製作実習基礎3 縫製1													
13	被服製作実習基礎4 縫製2													
14	被服製作実習基礎5 仕上げ													
15	これからの衣生活(持続可能な衣生活を考える)													
ラ イ ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認	○	*ブレインストーミング *調べ学修				工 夫 の 他 の	*アイスブレイク *動画の活用 *LMS(Moodle)の活用						
	B:意見の表現・交換	○	*プレゼンテーション *レポート・ライティング											
	C:応用志向		*ものづくり実習 *学生同士の相互評価											
	D:知識の活用・創造	○												
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	○テキストを読んで予習する(15h)。 ○事前に提供された資料等に基づいて予習する(5h)。												
		事後学修	○授業中に課した課題に取り組む(10h)。 ○授業中に指示をした実習に取り組む(15h)。											
	想定時間合計		45											
教科書	* 山口庸子・生野晴美「新版衣生活論 持続可能な消費と生産」アイ・ケイ・コーポレーション(2019)ISBN978-4874923573													
参考書	* 鷲田清一「ひとはなぜ服を着るのか」ちくま文庫(2012)ISBN978-4480429902 * お茶の水女子大学附属学校家庭科研究会著「作る手が子どもたちを輝かす アクティブラーニングが育てる これからの家庭科」地域教材社(2017) * 日本家政学会編「衣服の百科事典」丸善(2015)ISBN978-4621089286													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	学期末試験	30%	○	○								
	作品	30%	○		○							
	プレゼンテーション	20%	○	○								
	Moodle上での発言	20%	○	○								
		学期末試験、作品、プレゼンテーションとMoodleの課題、アンケートやフォーラム投稿の投稿について総合的に評価する。										
注意事項	作品製作、プレゼンテーションスライドの制作等、主体的に活動しながら学習することが求められる。											
備考	実習の材料購入は、基本的に自己負担とする。 授業外の学修機会についても紹介する。											
リンク	授業時に視聴する動画↓ URL https://togolabo.jp/material/video/											
担当教員の 実務経験の有無	○											
教員の実務 経験	中学校・高等学校 家庭科教諭 高等学校 情報科教諭											
実務経験を いかした教育内容	中学校・高家庭科、高校情報科の指導経験や専門的知識・技能を活かし、学校教育現場の理解に基づく教育内容を扱う。											